

令和6年度(2024年度)全国学力学習状況調査結果概要

千早赤阪村立赤阪小学校



国語

- ・平均正答率は、全国と比べて上回っている。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国の正答率と比べても高い水準だった。
- ・「読むこと」については、物語の描写をもとに登場人物の心情を捉えることに課題が見られた。

今後の対策

- ・一つ一つの言葉を大切に読み取ることを意識した授業を進める。
- ・読解力定着を意識した授業作りのための研修を実施。5分間のドリルやプリントを使って継続的に読解の学習に取り組んでいる。

児童質問紙より



- ・早寝・早起き、朝食をとるなどは、いい習慣が定着している児童が多い。
- ・自分にはよいところがあると思っている児童が多数おり、普段から自己肯定感が高まる環境にいることがわかった。
- ・どの児童も、わからないことがあっても、自分で考え解決するための工夫をしようという意欲がある。



- ・平日のゲーム時間が2時間以上という児童が7割。また、SNSや動画視聴の時間が2時間を超える児童が半数以上いる。どちらもしている児童はかなりのメディア時間を過ごしていると予想される。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦することには消極的な傾向がある。

算数

- ・すべての領域で、平均正答率は、全国と比べても高い水準だった。
- ・すべての児童が、解答時間内に全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力しており、解き方がわからないときでも、あきらめずいろいろな方法を考えようとしていた。

今後の対策

- ・コツコツと学習に取り組むことや、一人ひとりへのきめ細かな指導は引き続き継続し、今後も基礎・基本の力を定着させる取り組みを一層進めていく。